

パキスタンの家族が鳥インフルに感染

http://chealth.canoe.ca/channel_health_news_details.asp?news_id=23782&news_channel_id=1020&channel_id=1020

下記の Canadian Press の情報は、これまでの中で一番まとまっていて正確に思われる: 管理人

<p>Canadian Press</p> <p>パキスタン当局は、15日、同国として初の H5N1 鳥インフルが人で発生し、数人の家族メンバーを巻き込み、人人感染が生じた可能性もあることを発表した。</p> <p>15日の段階で検査で陽性になった人の数について、混乱があり、パキスタン保健省は6人と発表し、WHOは8人と発表した。</p> <p>WHOによると確認検査はいまださらに行われる必要があるという。そして報道官は多様な構成からなる感染者達がどのように感染したのか調査中であるが、特に何らかの人人感染が生じた可能性についても注目している、と語った。</p> <p>「WHOは人人感染を除外出来ない」とジュネーブの報道官であるグレゴリー・ハートル氏が語った。</p> <p>「他のもっともらしい説明は可能ではある。しかし我々は、現時点で十分な情報を得ていない。さらにこれらの事例の中のいくつかについて、今後十分な情報を得ることは出来ないと思われる」</p> <p>今回発生したクラスター(小集団)には、ノースウエスト・フロンティア州(北西辺境州)に住む4人の兄弟と2人の従兄弟が含まれている。兄弟のうち2人は死亡しているが、1人は検査を受けていない。</p> <p>死亡した兄弟は少なくとも感染した家きんに何らかの形で接触した既往があると考えられているが、その一方、彼等は家族で最初に発病した家畜行政で働いている兄の獣医の看病に携わっている。</p> <p>家族メンバーを治療した医師は、検査を受けて</p>	<p>ボシピシル氏によると、個人医院の医師は男性が居住するニッソー郡(Nassau County,)の保健局に相談したところ、保健局では検体を採取してウイルス検査を行い、陰性の結果が返ってきたという。</p> <p>米国CDCの報道官であるデービット・ダイグル(David Daigle)氏は、CDCでも検査を行ったが、やはり陰性であったと言う。</p> <p>「彼は陰性だった。彼が感染したかどうかについてはもう論議の必要性はない」、とダイグル氏はアトランタから15日伝えた。</p> <p>家族メンバーにおける最初の感染発生は、家畜行政に従事している獣医の発病に始まった。それは10月末にさかのぼる。その後2人の兄弟が発病して死亡したが、そのときになって初めて H5N1 鳥インフル感染の検査が行われた(訳者注: 獣医も含めて、しかし2人の死亡した兄弟の1人では検査が行われなかった)。検査結果が陽性であると知らされたのは11月末になってからと言われている。</p> <p>WHOは公的警戒報を12月12日に発した。</p> <p>「我々はパキスタンはやるべきことを十分行っていると感じている」、とWHO報道官のハートル氏はコメントしている。</p> <p>「しかし、もちろん、彼等はずっと早くにWHOに知らせることが出来た可能性はある」、とも付け加えている。</p> <p>ハートル氏は、パキスタンは診断確認のために、検体をカイロの米国海軍医学研究施設(NAMRU-3)に送ることに同意したと語っている。</p>
---	---

H5N1 鳥インフル陽性であったが、ハートル氏によると、使用キットは標準的なものではなかったとされる。同氏は主治医はさらに検査で確認される必要があると語り、さらに主治医は無症状であることも付け加えた。

家族とは関連のない3人は同地域で H5N1 鳥インフル感染の家きんの殺処分に従事していて、検査の結果陽性であった。3人とも生存している。このうち少なくとも1人は、先の兄弟の中の家畜行政で働いていた獣医のいた同じ農場で働いていた。

一方、米国公衆衛生当局では、最近パキスタンを訪れ、その後中等度の呼吸器症状を呈したパキスタン人について、H5N1 検査を行ったことを確認した。

当局は男性について、パキスタンのクラスターとリンクしているとだけ表現しているが、鳥インフルに感染している可能性があることに関心が持たれていると語っている。

「男性はパキスタンから帰国すると、個人医院を受診し、そして鳥インフルに感染しているかも知れないと告げた」、とニューヨーク州保健局の報道官クライワ・ポシピシル (Claire Pospisil) 氏が語った。

さらに発病者と接触した人々の追跡調査が行われ、濃厚接触者にはタミフルが投与されている。

米国のカイロ NAMRU-3 研究施設の専門家達が週末にパキスタンに派遣され、そしてWHOも H5N1 鳥インフル患者治療に精通した2人の医師と疫学専門家を派遣し、パキスタン当局に協力し、症例の治療と調査を手伝う。

ハートル氏によれば、家族内での新規発生は認められていないと言う。しかし同氏は、今回の事例がこれまで生じたことのある家族内に限定された小発生なのか、それともさらに大きなものなのか決定するには早すぎると語っている。

「我々はまだつま先立ちの状況だ。なぜなら我々はいまだ情報の半分も掴んでいない。事態は終了していない」

パキスタン保健省の発表では、6人が感染し5人が回復しているとされる。この報告の中での患者の内訳については不明である。

しかしこの人数の中には検査無しに死亡した兄弟の例は含まれていないと考えられる。彼の症状やウイルスに感染した可能性の高い既往歴があっても、検査結果無しでは公的に感染者リストには加えられないことは出来ない。